

大学院人間文化科学研究科健康栄養部門の平井眞穂さんが 「令和2年度 日本栄養・食糧学会学生優秀発表賞」を受賞しました。

この賞は、学生の研究を奨励することを趣旨として、大会で発表された優秀な研究に授与し、顕彰するものです。今年度は、117名のエントリーから一次審査により候補者が31名に絞られ、さらにポスター審査、Webによるプレゼンテーションおよび質疑応答による審査の結果、10名の受賞者が選出されました。その中の1名に本学学生が選ばれました。（受賞者一覧：https://www.jsnfs.or.jp/news/news_20200616.html）

題目：尿中2-オキシ酸排泄量を用いたB群ビタミン機能性生体指標の確立～随時尿の妥当性

発表者：平井眞穂，畑山翔，衣川志穂，泉澤勝弘，木全基樹，柴田克己，福渡努

概要：体内でB群ビタミンが機能しているかを知るための指標として、アミノ酸代謝産物である2-オキシ酸の尿中排泄量に着目した研究を進めています。従来の24時間蓄尿法では対象者の負担が大きいため、24時間尿中2-オキシ酸排泄量の代替として随時尿を利用できるか、妥当性について調べました。随時尿中2-オキシ酸排泄量には日内変動がないこと、随時尿と24時間尿の各2-オキシ酸排泄量は強い相関を示すこと、随時尿排泄量を用いて24時間尿排泄量の多い対象者を識別できることを明らかにしました。本研究結果により、今後、研究の推進、実用化を速やかに進めていくことが可能になり、健康の維持増進に貢献する研究成果を得ることを期待しています。

